

- 作家だけでなく、歌人、俳人、詩人、劇作家、脚本家、評論家、随筆家、思想家、哲学者、映画監督など、幅広く採り上げた。
- 訪ねることのできる1600人の墓碑の所在地と写真、その生涯と作品を詳細に記した。
- 人名総索引ならびに墓碑所在地の都道府県別索引を用意した。



文豪墓碑大事典

工藤寛正 [著]



明治・大正・昭和・平成の
文学者たちの
墓碑の写真と所在地、
輝かしい実績を紹介

[事典刊行によせて]

精細かつ充実した学芸人名事典の決定版



森鷗外は『澁江抽斎』の執筆にあたって、まず谷中感応寺の抽斎およびその父祖の墓を調査しているが、それにより未知の人物が瞬時にして実在性を帯び、私たち読者の好奇心をかき立てる。しかし、これまで多くの人名事典類は墓碑についての関心に乏しく、本書のように精細かつ充実したものは見られなかった。対象は明治初年から平成の末年まで、およそ150年間に没した文人・学者1800名で、死因と墓碑のみならず、業績や人間像を伝えるエピソードにまで目配りするという内容は、学芸分野の人名事典としても破格の充実性を感じられる。何よりも墓碑研究に30年以上を費やした著者のライフワークと呼ぶにふさわしく、行間から滲み出る文学への情熱に打たれざるを得ない。

文芸評論家 紀田順一郎

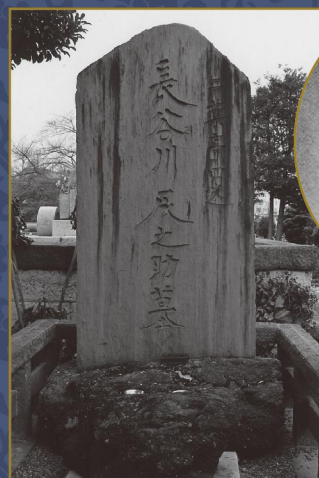


タナトスを見つめて文学に触れる

文学とは、エロスとタナトスのことだ。人は生まれて、やがて死ぬ。作家たちはその仕事において死を捉えてきたが、いつかは必ず自身にも死が訪れる。その実際の死をどうやって受け止めたのだろうか？ 周囲の人たちはどのように見守ったのだろうか？ どんな墓を建てたのだろうか？

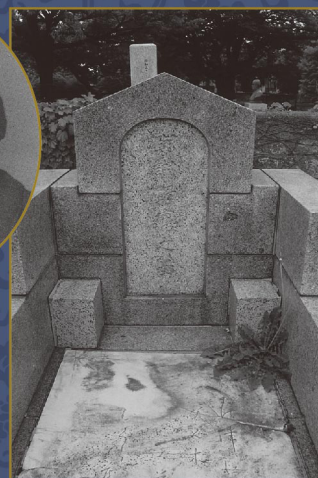
この本には文学者の死が多数収められている。人間にとって、死ぬのは最後の大事な仕事だ。それら大仕事を、漫然と眺めるのもいいし、お気に入りの作家を見つけて冥福を祈るのもいい。たくさんさんの死を見つめているうちに、文学の姿が浮かんでくるかもしれない。

作家 山崎ナオコ・ラ



こんな方々に
おすすめします

公共図書館／大学図書館／中学・高校図書館
記念館・資料館／近代・現代文学研究者
作家・小説家に関心のある方



ISBN: 9784490109207 ProductID: KP00067513
同時アクセス1 (本体価): 88,000円



紀伊國屋書店 学術電子図書館
デジタル情報営業部
ict_ebook@kinokuniya.co.jp
TEL: 03-6910-0518
〒153-8504 東京都目黒区下目黒 3-7-10

